

# 足柄地区



## 【地区の自然環境概要】

足柄地区は、川及び街の要素を持つ地区です。

小田原駅から約 1 km 北東に位置する住宅街で、東に酒匂川、西に山王川があり、水辺環境へのアクセスが良い地区です。

大部分は市街地や住宅地を好む動植物の生育・生息の場となっていますが、東側に流れる酒匂川周辺は、河川や河川敷などの水辺環境を好む動植物の生育・生息の場となっています。



## 【地区で見られる動植物】

市街地の中にある緑は動植物にとっての大切な生育・生息の場です。また、河川や海岸は水辺環境を利用する動植物の生育・生息の場となっており、特に酒匂川河口部はコアジサシの営巣の場として利用されるなど、大切に守っていききたい環境です。

- 市街地の神社・寺院では、アオダイショウやシロマダラ等の爬虫類が多く確認され<sup>1</sup>、ツバメやスズメ、ウグイス等の鳥類やニホンヤモリ等の爬虫類など、市街地から里地里山にかけてよく見ることのできる身近な種が確認されています。<sup>2</sup>
- 酒匂川下流部には河川敷が広がり、ダイサギやコチドリ等の水鳥、オサムシモドキ等の昆虫類などが見られ、水辺環境を特徴づける種が生息しています。礫河原では、市の鳥であるコアジサシ（絶滅危惧種）が営巣しています。<sup>3</sup>
- 魚類では、山王川でウグイやカマツカ、スミウキゴリ等の河川中下流域でよく見られる種のほか、緩い流れを好むミナメダカ（絶滅危惧種）が生息しています。<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 参考：平成 29 年（2017 年）～令和元年（2019 年）に実施したヒアリング調査結果

<sup>2</sup> 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

<sup>3</sup> 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果

<sup>4</sup> 参考：平成 30 年（2018 年）～平成 31 年（2019 年）に実施した現地調査結果



ダイサギ

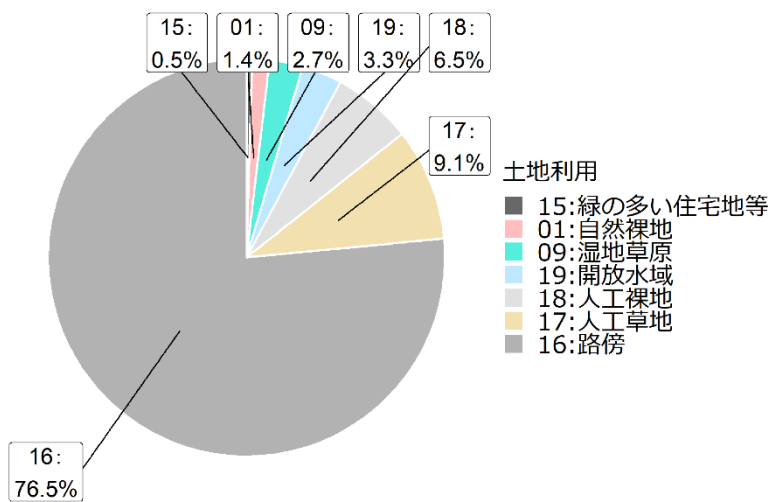


コアジサシ

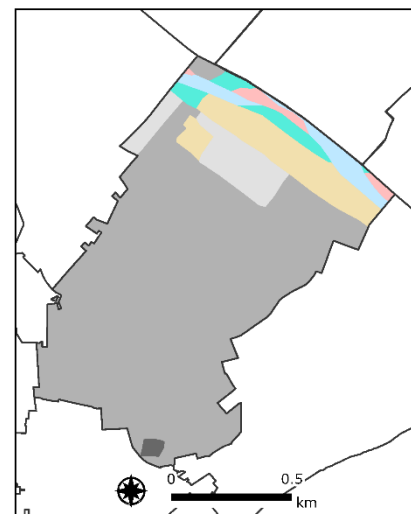


ミナミメダカ

- 植生図をもとに作成された土地利用を見ると、路傍が約7割を占めますが、酒匂川周辺は、開放水域や人工草地、人工裸地、湿地草原等の水辺環境が見られ、土地利用の約2割を占めています。<sup>5</sup>



足柄地区の土地利用割合



足柄地区の土地利用

### 【暮らしと自然のつながり（生態系サービス）】

スポーツの場や身近にある緑など、日々の生活の中で自然環境からの恩恵を受けています。

#### ～文化的つながり～

- **スポーツの場**：本地区の東側に位置する酒匂川河川敷は、「酒匂川スポーツ広場」として、軟式野球やサッカー、ゲートボール等のスポーツを楽しむことのできるレクリエーションの場として活用されています。また、小田原酒匂川花火大会では、河川敷が観覧席となり、夏の夜空を彩る美しい花火を楽しむことができます。
- **神社・寺院**：神社や寺院が多数あります。社寺林は、生活の身近にある緑として住環境の向上や心の安らぎに寄与します。また、一般的に神社・寺院の境内は、こどもの遊び場としても役立ってきました。

### 【地区で見られる特徴的な自然】

鳥獣保護区や巨樹・巨木林に選定された樹木等、大切に守り残していきたい自然環境が存在しています。

- **鳥獣保護区**：「酒匂川」は、希少鳥獣生息地（環境省レッドリストまたは神奈川県レッドデータ生物調査報告書において絶滅危惧が高いランクにある鳥獣の生息地であって、これらの鳥獣の保護上必要な地域）として、

<sup>5</sup> 出典：日本全国標準土地利用メッシュデータ（国立環境研究所）

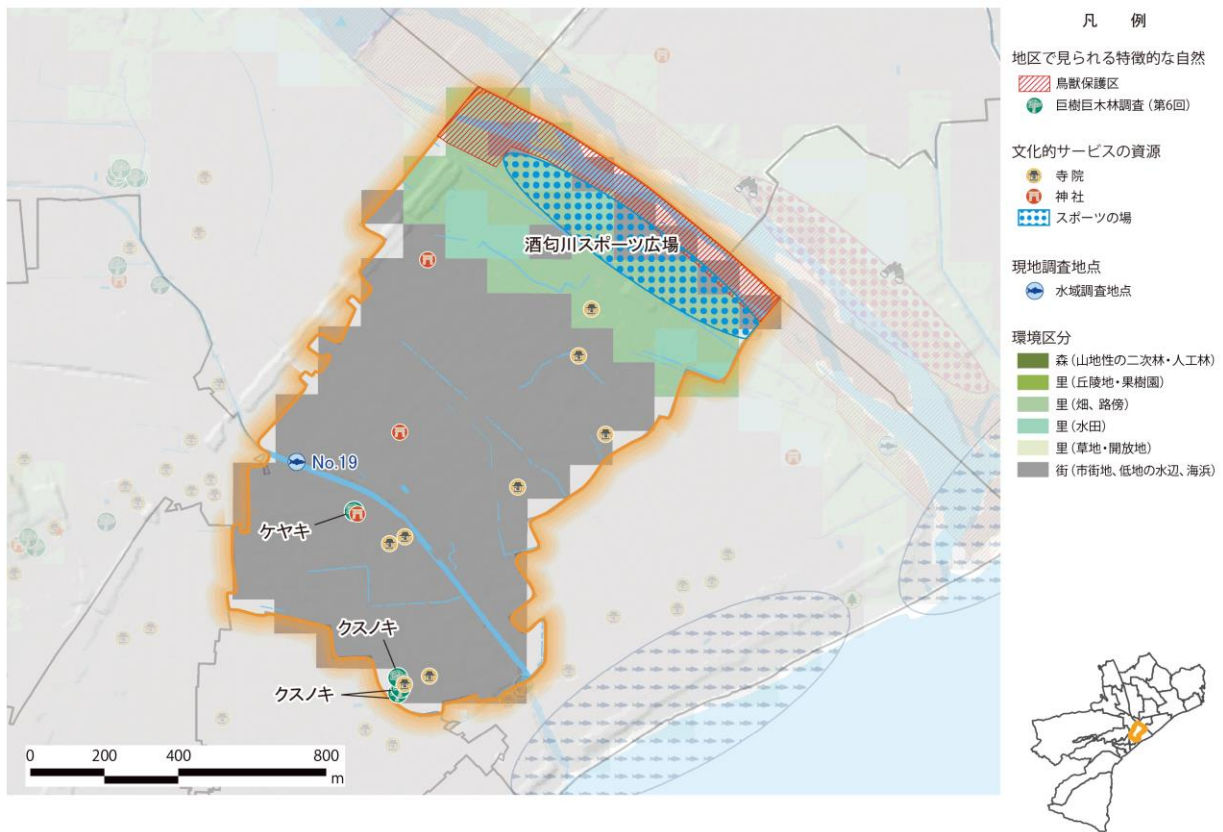
鳥獣の捕獲を禁止し、その生息環境を適切に保全しようとする区域として、神奈川県鳥獣保護区に指定されています。

- **巨樹・巨木林**：「本久寺」及び「熊野神社」に生育する次表の樹木は、環境省が実施する自然環境保全基礎調査の巨樹・巨木林調査<sup>6</sup>で、保全すべき巨樹・巨木林に選定されています。

巨樹・巨木林概要

所在地	樹種	樹高(m)	樹幹(cm)	調査年
本久寺	クスノキ	17	450	平成12年(2000年)
	クスノキ	17	340	平成12年(2000年)
	クスノキ	17	340	平成12年(2000年)
熊野神社	ケヤキ	23	355	平成12年(2000年)

※出典：第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書（環境省自然環境局生物多様性センター、平成13年（2001年））



足柄地区の自然環境マップ

<sup>6</sup> 巨樹・巨木林調査：巨樹・巨木林は、わが国の森林・樹木の象徴的存在であり、良好な景観の形成や野生動物の生息環境、地域のシンボルとして人々の心のよりどころとなるなど、保全すべき自然として重要である、として、その全国的な実態を把握することを目的に実施されている調査